平成２８年度　学校通信

松北だより「笑顔」

第５５号　　平成２９年　１月３０日（月）

本年度の松ヶ江北小学校みんなの合言葉
【あいさつ・そうじ・時間のけじめ】
【やる気・本気・根気】

1月　なわとびの練習などを続けて、寒さに負けない元気な体と頑張る心を鍛えよう

学力向上特集号「平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について」Ⅰ

この件については、１２月に学校ホームページへの掲載のみとなっていましたので、松北だより「笑顔」でも数回に分け、改めて少しだけ詳しく紹介させていただきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」は、平成１９年度から実施されています。本年度も平成２８年４月１９日（火）に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施しました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただければと思います。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部分を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考え、本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるよう努めてまいります。ご家庭でも、家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

【教科に関する調査結果の概要】

国語Ａ（主として「知識」に関する問題）

全般的に、基本的な力の定着をしっかりと図っていく必要があります。まずは、日々の学習や生活の中で、漢字の練習、読書、辞書の活用などの基本的なことを着実に繰り返していく必要があります。

国語Ｂ（主として「応用」に関する問題）

文章の読み方、書き方を中心とした活用する力に大きな課題があります。まずは、言葉や文による表現にもっと慣れ、どんなことを言っているのか、何が聞かれているのか、それに対する答えとして必要なことはどこにあるのか、などを判断する力を身に付けていく必要があります。

算数Ａ（主として「知識」に関する問題）

「図形」に関する問題については、取組の成果が少しずつ表れているようですが、「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」などすべての領域において、基本的な内容の定着をより一層しっかりと図っていく必要があります。

算数Ｂ（主として「応用」に関する問題）

特に文章題等において、問題の意味を考え、問題の解き方等を順序立てて考えたり記述していったりすることに大きな課題があります。問題を解決するために必要なことを、資料の中から見付けたり適切に判断したりする力にも課題があるようです。

＜あとがき＞

ここ２週間ほど、体調を崩してしまいまして、松北だより「笑顔」の発行も、ずいぶん長いことお休みしてしまいました。まだ、万全の状態とは言えませんが、もう、１月も終わってしまいますので、なんとか頑張っていかねば！と思っているところです。

新年早々、本当に健康の大切さとありがたさを思い知らされました。普段、元気なときには考えない「健康」について、考えさせられました。